

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-1	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、輸送課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R4	
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実 個別取組 公共交通の利用促進施策との連携									
概要	<p>【せんだいスマートとの連携】 「せんだいスマート」は、公共交通利用促進に向けたソフト施策で、公共交通を利用することで、健康面や生活そのものがスマートになることを目指します。交通局においても転入者、大学生、小学生等ターゲットに合わせた情報発信に努めるほか、路線図や運行系統図、時刻表の表記の見直しを図る等、利用方法がよくわからないという方にも、十分な周知を行うことで、車やバイク等の交通手段から公共交通への転換が進むよう取り組みます。</p> <p>【公共交通利用促進イベントとの連携】 「交通フェスタ」への参加や、「バス・ちか祭り」等の開催を通じて、公共交通の利用促進PRを行います。</p> <p>【パークアンドライド、パークアンドバスライドの実施】 地下鉄周辺の駐車場、バス営業所に自家用車を駐車（パーク）し、市バスまたは地下鉄に乗り換えて勤務先または通学先へ移動（ライド）するパークアンドライド、パークアンドバスライドを継続して実施します。</p> <p>【自転車施策との連携】 地下鉄駅への公共駐輪場の確保等の自転車施策と連携し、自転車と地下鉄を組み合わせて移動の利便性向上を図ります。</p>									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	<p>転入者、大学生、小学生等ターゲットに合わせた情報発信の検討・実施</p> <p>現在の各情報提供物（路線図や運行系統図、時刻表）の表記の見直し・改善</p> <p>どこバス仙台のサービス拡張の検討</p> <p>パークアンドライド・パークアンドバスライドの実施</p>									
これまでの取組み状況	<p>仙台市等が実施するモビリティ・マネジメント（※1）へ協力することで自動車から公共交通への利用転換を図り、市バス・地下鉄の利用を促進してきた。引き続きせんだいスマートとの連携や各種イベントとの連携、パークアンドライド（※2）、パークアンドバスライド（※3）を実施している。なお、交通局ウェブサイトでパークアンドライドの空き状況や利用者募集のお知らせを実施している。</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドバスライドに関するPRポスター掲出、情報誌S-Styleへの募集記事掲載</li> <li>・経営改善に向けた取り組み紹介サイトにて、モビリティ・マネジメントの取り組みを掲載</li> <li>・どこバス仙台の機能拡張を検討。</li> <li>・霞の目営業所でパークアンドバスライドを実施。</li> </ul>									

【年度計画及び実績】

課題	<p>・モビリティ・マネジメントの実施にあたっては、ターゲットに合わせた情報発信方法を検討する必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、三密を避ける情報発信・PRの方法を検討する必要がある。</p> <p>・情報提供物に関しては、過年度よりわかりやすい情報提供に努めて改善してきており、さらなる改善は限定的である。そのため「どこバス仙台」でのさらなるサービスの検討を進める。</p>								
実施内容	<p>・モビリティ・マネジメントの実施にあたり、ターゲットに合わせた情報発信方法を行う。</p> <p>・バスに不慣れな方々でもバスをご利用いただけるように、バス路線図及び運行系統図、時刻表、どこバス仙台の改善を図る。</p> <p>・パークアンドライド、パークアンドバスライドを実施するとともに交通局ウェブサイトでも空き状況や利用者募集等を行う。</p>					数値目標	<p>・仙台市のイベント2件と連携し、来場者に公共交通利用を促すことでモビリティ・マネジメントを推進する。</p> <p>・パークアンドバスライドについて、前年度の貸付料を上回る。</p>		
	予定					実績			
上期	<p>【PR】 8～9月 効果的なターゲット層と情報発信方法を検討する。</p> <p>【情報提供物等】 ・4～9月 次回ダイヤ改正に向けた情報提供物の見直し内容の検討（路線図や運行系統図、時刻表、どこバス仙台）</p>					<p>【PR】 8～9月 仙台クラシックフェスティバル、ガスフェアと連携し、公共交通利用を促進するPRを行った。また、10月から開始する仙台MaaSポケモンスタンプラリーと連携し、公共交通利用の促進に向けた情報発信方法について検討した。</p> <p>【情報提供物等】 ・4～9月 次回ダイヤ改正に向けた情報提供物の見直し内容の検討（時刻表、どこバス仙台）</p>			
下期	<p>【PR】 10～3月 上期の検討内容について実施する。</p> <p>【情報提供物等】 ・10～12月 現在の情報提供物の見直し内容の整理（路線図や運行系統図、時刻表、どこバス仙台）</p> <p>・1～3月 情報提供物の見直し内容の反映（路線図や運行系統図、時刻表、どこバス仙台）</p>					<p>【PR】 10～3月 仙台MaaSポケモンスタンプラリーと連携し、仙台MaaSにて販売している各券種のPRを行った。</p> <p>【情報提供物等】 ・10～12月 現在の情報提供物の見直し内容の整理（どこバス仙台）</p> <p>・1～3月 情報提供物の見直し内容の反映（どこバス仙台）</p> <p>・路線図や運行系統図、配布用時刻表を作成。</p>			
定期的な取組み	<p>・パークアンドライド、パークアンドバスライドの継続、交通局ウェブサイトでも空き状況や利用者募集のお知らせ</p>					<p>・パークアンドライド、パークアンドバスライドの継続、交通局ウェブサイトでも空き状況や利用者募集のお知らせを実施した。</p>			

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<p>・仙台市のイベント3件と連携し、モビリティ・マネジメントを推進できた。</p> <p>・どこバス仙台に関してはモニタアンケート調査を実施して、提供情報の満足度等を確認した。</p> <p>・路線図や運行系統図、配布用時刻表を作成し、わかりやすい情報提供に努めた。</p> <p>・パークアンドバスライドを継続し、交通局ウェブサイトでも空き状況や利用者募集のお知らせを実施した。</p>	数値目標の達成状況	<p>・仙台市のイベント3件と連携し、来場者に公共交通利用を促すことでモビリティ・マネジメントを推進した。</p> <p>・パークアンドバスライドについて、R3年度の貸付料を上回ることができなかった。</p> <p>・R3年度 25千円</p> <p>・R4年度 24千円</p>
次年度に向けて	<p>・様々なイベント等と連携し、ターゲットに合わせてモビリティ・マネジメントを推進する必要がある。</p>				

【備考】

※1「モビリティ・マネジメント」とは、1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のことです。

※2「パークアンドライド」とは、自動車を郊外の鉄道駅等の周辺に停めて、鉄道に乗り換えて目的地に向かうというものです。仙台市交通局では、泉中央駅周辺及び長町南駅周辺で実施しています。

※3「パークアンドバスライド」とは、自動車を郊外の専用駐車場に停めて、バスに乗り換えて目的地に向かうというものです。仙台市交通局では、市バス霞の目営業所で実施しています。

[仙台市ウェブサイト「パークアンドライド・パークアンドバスライドについて」](#)（外部サイトを表示します）

[仙台市交通局ウェブサイト「パークライド」](#)

[仙台市交通局ウェブサイト「パーク&バスライドのご利用について」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-2	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、輸送課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R4	
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実 個別取組 都心の回遊促進施策との連携									
概要	<p>【都心の回遊促進に係る事業との連携】                  定禅寺通活性化推進事業をはじめとする、都心の回遊促進に係る事業について、交通事業者として連携していきます。                  【都心部における均一運賃制度の実施】                  都心バス均一運賃(120円)や市中心部地下鉄均一運賃(210円)を関係者と連携しながら継続して実施します。</p>									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	<p>都心エリア限定の一日乗車券の販売検討・実施</p> <p>市中心部地下鉄均一運賃(210円)の実施</p> <p>120円パッ区の実施</p> <p>定禅寺通活性化事業、青葉通再整備事業について関係機関と連携</p>									
これまでの取組み状況	<p>仙台市の交通政策の指針である「せんだい都市交通プラン」(※1)における「公共交通を利用した都心の回遊の促進」に係る取組みと連携し、賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築に貢献するため、都心バス均一運賃(120円)や市中心部地下鉄均一運賃(210円)(※2)を導入してきたところである。今後も継続した均一運賃制度を実施するとともに更なる都心回遊の促進のため、新券種の検討及び認知度の向上に努める。</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>120円パッ区を実施</li> <li>仙台MaaS(※3)において、新券種「120円パッ区一日乗車券」の実証実験を実施(◆2-1-3、3-2-4に関連記載あり)</li> </ul>									

【年度計画及び実績】

課題	都心回遊の更なる促進のため、既存券種の認知度向上や利便性の高い券種の作製検討が必要。								
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市バス均一運賃(120円)、市中心部地下鉄均一運賃(210円)の継続</li> <li>仙台市と連携し、120円パッ区一日乗車券を仙台MaaSへ引き続き搭載するとともに、多様な媒体での紹介やイベントとの連携等により認知度の向上を図ることで販売枚数の増加につなげる。</li> <li>青葉通再整備計画について、再整備方針策定のため、協議会やワーキンググループに参画し、交通処理や実現の可能性について関係機関とともに検討を行う。</li> </ul>				数値目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>120円パッ区で前年度の利用人数を上回る。</li> <li>120円パッ区一日乗車券について、R3年度の販売枚数を上回る。</li> </ul>			
	予定					実績			
上期									
下期									
定期的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>120円パッ区の実施</li> <li>市中心部地下鉄均一運賃(210円)の実施</li> <li>各種協議会やワーキンググループへの参画</li> <li>120円パッ区一日乗車券の販売及びPR</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>120円パッ区を継続</li> <li>市中心部地下鉄均一運賃(210円)を継続</li> <li>各種協議会やワーキンググループへの参画</li> <li>120円パッ区一日乗車券を継続して販売するとともに、仙台MaaSポケモンスタンプラリーと連携しPRを行った。</li> </ul>			

【令和4年度評価】


評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>120円パッ区と市中心部地下鉄均一運賃(210円)を継続し、都心部における公共交通利用促進を図った。</li> <li>「120円パッ区一日乗車券」の実証実験期間を延長し、引き続き仙台MaaSで販売した。</li> <li>各種協議会や公共交通ワーキンググループへ出席し、都心内回遊について検討。</li> <li>鶴ヶ谷・南光台線の宮町を経由し、仙台駅前を終点とする便の一部を交通局までの延伸検討した。</li> </ul>	数値目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>120円パッ区の利用人数はR3年度比で約11.7%増加</li> <li>120円パッ区一日乗車券販売枚数 R3年度:89枚 R4年度:274枚</li> </ul>
次年度に向けて	120円パッ区一日乗車券の認知度を向上させ、販売促進を行う必要がある。引き続き協議会やワーキンググループに参加し、都心回遊の促進を図る。				

【備考】

※1 「せんだい都市交通プラン」については、下記リンクよりご確認ください。 <a href="#">仙台市ウェブサイト「せんだい都市交通プラン」</a> [外部サイトを表示します]
※2 「市中心部地下鉄均一運賃(210円)」及び「120円パッ区」については、下記リンクよりご確認ください。 <a href="#">仙台市交通局ウェブサイト「お得な運賃制度・乗車券」</a>
※3 「仙台MaaS」とは、仙台市が令和3年10月より実施している、スマートフォン等で目的地までのルートや移手段、さらには街なかの飲食店・イベント等の検索・予約・決済に至るまでを一括して行える仕組みです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 <a href="#">仙台MaaS</a> [外部サイトを表示します] <a href="#">仙台市ウェブサイト「仙台MaaS推進」</a> [外部サイトを表示します]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-3	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R4	
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実		個別取組	フィーダーバスの利便性向上						
概要	鉄道にバスが結節する交通体系の構築に向けて、東西線結節駅周辺バス均一運賃(100円)(※1)を継続し、東西線の主要駅(八木山動物公園駅、薬師堂駅、荒井駅)に接続する路線バス(フィーダーバス)(※2)の利便性向上を図ります。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	東西線結節駅周辺バス均一運賃制度の継続 									
これまでの取組み状況	地下鉄東西線の開業に合わせ、平成27年に東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を導入した。一般会計からの補助を受け実施している。									

【年度計画及び実績】

課題	公共交通利用の拡大を図るため、東西線の主要駅に接続する路線バスの利便性の向上が必要。									
実施内容	仙台市と連携し、東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を継続する。						数値目標			
	予定					実績				
上期										
下期						都市整備局で策定した仙台市地域公共交通計画の実施計画である利便増進実施計画の取組みとして、八木山ライン(※3)の最大待ち時間の短縮を図るため、平日オフピーク時(9時~15時台)のダイヤ調整を行い、令和5年4月のダイヤ改正に反映させた。(◆3-1-4に関連記載あり)				
定期的な取組み	東西線結節駅周辺バス均一運賃制度の継続実施					東西線結節駅周辺バス均一運賃制度の継続実施				

【令和4年度評価】


評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を継続している。</li> <li>都市整備局の策定した地域公共交通計画の実施計画である利便増進実施計画の取組みとして、八木山ラインにおける最大待ち時間の短縮等の取組みに参画し、令和5年4月のダイヤ改正に反映させた。</li> </ul>	数値目標の達成状況	
次年度に向けて	制度を引き続き実施し、フィーダーバスの利便性向上を図る必要がある。				

【備考】

- ※1 「東西線結節駅周辺バス均一運賃制度」については、下記リンクよりご確認ください。  
[仙台市交通局ウェブサイト「お得な運賃制度・乗車券」](#)
- ※2 「フィーダーバス」とは、交通網において、幹線と接続して支線の役割をもって運行される路線バスのことです。
- ※3 「八木山ライン」とは、仙台駅前~八木山動物公園駅間の市バス・宮城交通バスが運行している既存路線のことです。  
[仙台市交通局ウェブサイト「地域の移動手段確保に向けた取組みと連携」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-4	分類	共通	担当課	輸送課、営業課			戦略	まちづくりへの貢献	年度	R4
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実				個別取組	地域の移動手段の確保に向けた取組みとの連携					
概要	仙台市では、公共交通の利便性が低い地域において地域のニーズや移動の実態、交通需要の動向など、地域の実情に応じた地域主体の移動手段である乗合タクシー等の地域交通の導入を進めています。市バス・地下鉄が乗継ぎ等において連携を図ることにより、地域の移動手段の確保に向けた取組みを推進します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	・地域公共交通計画策定に参画 地域交通の導入・推進 										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・公共交通ワーキンググループ(※1)に毎月参加。仙台市全域のOD・トラフィックデータ(※2)を都市整備局へ提出し、利用状況の把握を共有。 ・仙台市内の路線において、「幹線区間」「準幹線区間」「フィーダー区間」の3つに主要路線を区分した。 ・地域交通導入に係る地域との意見交換会に参加。(市内6箇所:田子、岡田、沖野・六郷、六郷東部、泉西部)										

【年度計画及び実績】

課題	地域交通の導入については、地域によって様々な特性があり、その実情に応じて調整を進めて行く必要がある。											
実施内容	地域の実情に応じた移動手段の確保に向け、地域や関係機関と定期的に意見交換や情報共有を行う。							数値目標				
	予定						実績					
上期	4月	第1回推進協議会資料、ダイヤ調整等				4月	第1回公共交通ワーキング					
	5月	決算及び予算、令和4年度取組、委託業務等				5月	地域交通意見交換会(鶴巻地区)					
	6月	協議会委託業務、ダイヤ調整等、利便増進実施計画イメージ				6月	第2回公共交通ワーキング					
	7月	ダイヤ調整、その他取組、利便増進実施計画イメージ				7月	第3回公共交通ワーキング					
	8月	第2回推進協議会資料				8月	第4回公共交通ワーキング					
	9月	利便増進実施計画素案について ダイヤ調整、利便増進実施計画案				9月	第5回公共交通ワーキング					
下期	10月	ダイヤ調整、利便増進実施計画案				10月	第6回公共交通ワーキング					
	11月	第3回推進協議会資料 利便増進実施計画案について(国提出資料)				11月	第7回公共交通ワーキング 第3回協議会					
	12月	利便増進実施計画の修正、その他施策検討				12月	第8回公共交通ワーキング					
	3月	第4回推進協議会資料、その他施策検討 利便増進実施計画の報告				1月	第9回公共交通ワーキング					
						2月	第10回公共交通ワーキング					
						3月	第11回公共交通ワーキング 第4回協議会					
定期的な取組み	・毎月開催される公共交通ワーキンググループに参加。 ・仙台市全域のOD、トラフィックデータの提供。											

【令和4年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・公共交通ワーキンググループで策定した利便増進実施計画に則り、動物公園線を八木山ラインと名付け、運行時刻を宮城交通と調整し、バス停での最大待ち時間の短縮を図った。 ・都市整備局主導で当局と宮城交通の統合時刻表を策定し、八木山ライン内の主要停留所に掲示した。					数値目標の達成状況				
次年度に向けて	・八木山ラインでの時刻調整や統合時刻表の取組みについて、実際に乗車人員の増加に寄与しているかを把握するため、利用実績を注視していくとともに、地域住民に認知されているのか、利用客が実際に利便性を感じているのかについても検証が必要である。											

【備考】

※1 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定協議会である仙台市交通政策推進協議会実務担当者によるワーキンググループ  
 ※2 ODデータ:券種別利用者の集計データ  
 トラフィックデータ:停留所ごとの利用者数、通過時間の集計データ